

梅鶯仏教壮年会報

第117号
2014年
5月18日

5月例会

期日：5月25日（日）

時刻5時～6時半

プログラム

お勤め

法話

『浄土真宗のみ教え①』

放談会（自由に話しましょう）

仏教讃歌斉唱

法輪寺 永代経 法要

要

五月三十一日（土）

午前十時・午後一時半

*お勤めに引き続き、

お説教があります。

永代経は報恩講と並び、お

スリランカ（旧セイロン） 世界遺産の仏教遺跡を訪ねて⑨

副会長 森 勝昭

コロンボ市内で、初代大統領であつたスリジャヤワルダさんの元住いだった家をバスの中から見学しました。コロンボは旧首都。にぎやかで高層ビルが建ち並ぶ美しい町でした。久しぶりに交通信号機を見ました？ 地方には信号機はありませんでした。セイロン島の西側の海岸線をバスで走っている。インド洋が広がり、子どもたちがたこ揚げをしています。この国は、他国からの侵入、侵略による植民地政策など悲しい歴史がありました。また国内では、1938年（昭和58年）シンハラ人とタルミ人との民族対立が2009年（平成21年）に至るまで内戦状態が続いた。その間には反政府組織（タルミ・イーラム解放のトラ）が独立宣言するなど混乱な時代がありました。今は何にもなかった様に家族連れや若いカップルたちが夕日が沈む砂浜で楽しく遊んでいました。

この国はこれから、観光業、紅茶、ゴム、ココナツなど輸出品などで大きく成長すると思います。夕方ヒルトンホテルに着。ここで日本料理店にてさようならパーティ。食べたかった刺身、味噌汁など出る。ご飯は日本米で美味しかった。瓜生津先生ご夫妻の金婚と傘寿のお祝いに、皆からの記念品と花束を贈呈しました。久しくタタミの上でゆっくりくつろぎました。日本の暑い気候よりもさわやかで快適な思い出多い旅行が出来ました。コロンボ空港深夜11時30分にて成田空港へ無事に帰国した。暑い暑い！ここで中部国際空港組と大阪伊丹空港組とに分かれた。瓜生津先生もお元気で上座部仏教など車イスに座つてのお話を頂きました。ただただ、感謝の気持ちでいっぱいでした。何よりも皆が元気で楽しい旅が出来たことが幸いです。合掌 完



題材法話

子理化学研究所の小保方晴
る「S T A P細胞」の作成
に成功されたという報道が
あり、あの山中伸弥教授の
「i P S細胞」に続いてす
ごいことだと思つたので
が、ここにきて「コピペ疑
惑」等々少しかしな具合
になつてきました。
細胞によつて再生医療が進
将來にいろいろな難病に苦
人達が救われることは大
嬉しいことです。
またその万能細胞によつ
て、人間が一定範囲若返
ることができる可能性もあ
そうで、平均寿命が120
歳くらいまで伸びる可能
があるそうです。
ただその心配なのは、
「人間のいのちを、人間が
コントロールできる」と錯
覚することや、「長生き自
体が目的となつてしまふ」
ことだと指摘する人がいま
す。
年を重ねることや
老いること、そして
人間のいのちそのも



のに、どんな意味を持たせ
るか、ということがおろそ
かになることは、大変恐ろ
しいことだと思ひます。
○曇鸞大師さまのエピソード
七高僧のお一人である曇
鸞大師さまは、中国の南北
朝の時代に生まれ、南北
北両方の国王から尊敬され
たすごい方でした。
たすがい方でした。病弱だ
たため、学問を続けるため
に何とか長生きする方法は
ないものかと、ある仙人を
訪ね、仙經という長生きの
ための本を授かりました。
またま有名な三蔵法師に会
われ、三蔵法師から「長生
きした後、どうするのか」
「人間の命にはいずるのか」
「ても限界があり、そんな限
りのあるものを追い求める
こと自体が、愚かしいこと
だ」と、厳しくたしなめら
れます。
そして三蔵法師は、「仏
教は、その迷いである生死
の世界を超えて、永
遠に生きる法を説く
教えなのだ」と諭し
念仏の教えを説く観



無量寿經を授けられたので
す。
そこで曇鸞大師は、仙人
からもらつた仙經の一切を
焼き捨て、ひたすら南無阿
彌陀仏の浄土他力の教えに
帰依されたのです。
信偈を味わう⑭「でも味わ
いましたので、詳しくは会
報91号を読み返して頂き
たいと思います。つまり
人生は「長生きすること自
体が目的ではない」という
ことです。ここが大切な
○人生の「意義」から「意味」へ
かつて法輪寺の大遠忌法
要で、信楽峻磨先生（仏教
学者・龍谷大学元学長）に
ご講演を頂いたことがあり
ました。
その講演の中で、「私た
ちはとかく人生に『意義』
を求めようとしているが、
本当は、『意味』を求めて
いかなければならないので
す」というお話がありま
した。
「人生の『意義』と
「意味」。この違い
が重要なのです。



私たちが人生というものを
考えるとき、一般的には
どうでしょうか。
「意義のある人生を送り
たい」「充実した人生を送
りたい」と考えるのが普通
です。
その思いは人それぞれだ
と思ひますが、ただほとん
ど共通しているのは、「で
きるだけ恵まれた生活を送
りたい」「そのためには、
必要とする財産を手に入れ
たい」。
また「一人から認められ
ような人になりたい」「そ
のためには一定の地位や、
人から褒められるような立
場になりたい」といったよ
うなところがあるのではな
いでしょうか。
人によつてその度合いに
は差があるでしょうが、そ
んな思いがまったく人
というのには、ごく限られ
方ではないでしょうか。
人生を考えると、ほと
んどの方が人生そのもの
に「普通なのです」と思
つづ

